

八清親和会 自治会役員の一とり言

令和2年7月1日

No20

八清親和会 副会長

吉田祐治

書面総会・書面表決が自治会の大きな自信になった！

令和1年度の八清親和会定期総会は、新型コロナウイルス感染拡大により、初めての「書面総会・書面表決」になった。

自治会として未経験の書面総会であったが、4年前より取り組んできた総会の欠席者“0”（ゼロ）を目指した取り組みの成果が、書面総会にも現れ、役員の大きな自信になった。（欠席者とは、委任状も提出しない総会委員を言う。これをゼロにする。）

従来の自治会総会と言えば、多くの自治会同様、八清親和会も平成27年度までは、総会資料に基づき「前年度の活動、収支実績、新年度の活動、収支計画、重点取り組み項目」の説明・質疑応答・採決が定番であった。説明者もただ総会資料を見ながら、細々と淡々と説明し、会場の出席者も下を向いて手元の資料をただ目で追っているだけの「何の変哲もない」総会であった。

このため総会会員は、資料を読めば分かるものをわざわざ出席する必要がない。こんな総会に関心、興味がない等の理由で、委任状も出さず欠席する委員が17～20%ほどいた。このままでは増える可能性があるため、会員たちに如何に会場に足を運んでもらうか。総会の改善に取り組んだ。

この取り組みのキーワードは“総会への関心度向上”として、欠席者“0”（ゼロ）を目指し総会関心度の基準を設けた

1. レベル1 関心度＝出席者 70%以上
2. レベル2 関心度＝出席者＋委任状提出者 90%以上
3. レベル3 関心度＝出席者＋委任状提出者＋欠席者”0” 100%

総会の改善に取り組んでいる過程で、出欠席数字は“自治会への関心度”を現していることに気が付いた。

八清親和会は、会員世帯が多いため、総会は委員総会（会員を代表した新旧常任委員、組長）を採用している、即ち総会メンバーは、役員＋新旧常任委員＋新旧組長の96名で現在は構成されている。常任委員、組長は1年交代の輪番制であるため、必ずしも自治会に関心ある人ばかりではないことに気付き、この出欠席や委任状提出数字は、八清親和会の活動に関心を持っているか、否かの、一つの判断材料にもなった。

また、当日総会メンバー名簿と出欠席や委任状提出を確認するため、仕事の関係や止むを得ない事情で委任状提出か、欠席あるいは、高齢理由で来られない等の把握もでき、定量だけではなく、定性的な把握分析ができ、平成25年から進めていた改革・改善の取り組みにも活用できた。

一方、欠席者を減らし出席者を増やす方法として取り組んだのは「ITの活用による退屈な総会から脱却し、会員が関心を持ち、興味を持ち、出席して見ようと言う」意識を持って貰う、総会への変革である。

今や民間企業の株主総会、講演会等では、当たり前になっている、パワーポイントによる「見せる」「見る」総会の実施であった。八清親和会総会のパワーポイント活用は、議案だけではなく、総会開始前の待ち時間を使い、前年度の行事・活動実績をスライドショーで紹介をして、出席者を飽きさせない工夫も取り入れている。一方会館収容人員はMAX80名ほどのため、オブザーバー

を含め後10名ほどの収容余裕しかないのが心配である。



[八清親和会総会の推移]

(単位：名)

[28~29年常任・組長削減]

[書面総会]

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和1年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 定数 | 118 | 106 | 96 | 96 | 96 |
| 出席者 | 78 | 69 | 52 | 58 | 93 |
| 委任状提出 | 20 | 27 | 34 | 33 | 0 |
| 欠席者 | 20 | 10 | 10 | 5 | 3 |

| | | | | | |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 関心度レベル1 | 66% | 65% | 54% | 61% | 97% |
| 関心度レベル2 | 83% | 91% | 89% | 95% | 97% |
| バザ-バ-出席者※1 | — | 11 | 10 | 11 | 10 |

(※1：28年より活動協力団体会長・役員出席人数、議決権ナシ)

(資料配布10)

今回は、この流れを汲んで実施した「書面総会・書面表決」ではあるが、初めての経験のため、どこまで総会資料を読んでもらえるか、書面表決がどのくらい回収できるか心配であった。

しかし、この心配は全く杞憂であり、結果は、

◇議決権保有者 96名に対し、表決表の提出は 93名 未提出 3名

◇未提出者3名の内2名は、超高齢者の顧問であり、提出先の三役に届けることができなかったものと思われる。(この場合を想定した気づかいが必要であった)

◇議案の賛成・反対のいずれかのはっきりした表示は、96、委任は、0(ゼロ)

◇各議案に対する反対は1票ずつあったが、全て反対意見や指摘が書かれており、理由を明確にした反対であった。

◇反対票の内容は、議案内容に関わる本質的な反対ではなく、総会資料の理解不足や、単純ミスの指摘によるもので安堵した。

◇そして、表決表の回収率97%の驚異的な数字は、新・旧常任員の組長からの回収努力のおかげです。これも“総会、自治会に対する関心度”の表れであり、感謝、感謝に尽きます。

以上だけでも、今回の書面総会・書面表決は大成功であった。

この結果から見えるのは、

◇平成28年からの総会改善取り組みが会員に理解され「総会への関心度」は書面総会にも現れた。総会のみならず、自治会への関心度にも繋がっているものと思われる。

確実に関心度が向上している結果であり、今回の総会関心度レベル2は、97%となり驚異的な数字である。

◇また、議案に対する賛成又は、反対のはっきりした意思表示の表決が、表決表提出者全員(100%)であったことに驚いている。

◇反対票についても、内容の差があっても反対票を投じた全員が、反対する「意見あるいは指摘」を記して提出されたことにも正直驚いている

◇これは、確り「総会資料」を見てくれた証しであると思われる。

◇三役はもっと緊張感を持って総会資料の作成・チェックを行わねばならない教訓となった。

三役としては、これで終わりではなく書面総会・書面表決の後が大事である。

総会会員の努力に報いることと、会員への信頼を築くためにも確りフォローすることである。

◇まず行ったことは、反対票の意見、指摘に対し個々に文書による回答である。

文書回答を作成し、三役が個別訪問手渡し、必要により説明をした。

◇その後、常任委員、組長経由で全会員に「書面総会・書面議決結果報告」と「議決後の総会資料」を添付して回覧し、書面総会結果の周知を図った。

◇「書面総会・書面議決結果報告」は、表決表の提出枚数、総会成立資格審査結果、各議案の議決結果、記された意見、指摘事項の内容等を理解できるように明確に記載した。

◇「議決後の総会資料」とは、総会前の議案についている(案)に二の線を引いた総会資料。

これらの作業は手を煩わすが、三役と会員との信頼を築き、自治会への関心が高まり、行事や活動への参加者増加につながる一歩であり、八清親和会は、これらの小さな改革・改善を一つずつ積み重ね、いまの自治会に再生してきたのである。

会員の減少、自治会活動の衰退、会員の高齢化等の問題・課題を抱えている昭島の多くの自治会の皆さん、このようにこれらの問題・課題解決に取り組むきっかけや、ヒントはいくらでもあります。ただ取り組む行動の一歩を踏み出す勇気があるかだけです。

参考になりましたか！

あなたの自治会は、今回の書面総会・書面表決結果の総括は行いましたか、

その結果得られたものは何ですか！

次につながる何かが見つかりましたか！

—自治会役員の“ひとり言”です。

以上

[プロセス]

- ◇3月15日総会メンバーに4月18日開催「令和1年度総会開催(会議形式)案内」配布
- ◇その後、新型コロナウイルス感染拡大により「非常事態宣言」や外出自粛要請が出る
- ◇3月20日～三役で書面総会への変更協議、書面総会開催の手順・ロードマップ作成等の準備
- ◇3月28日三役会開催、書面総会への変更決定
- ◇4月11日4月常任委員会開催、書面総会への変更付議・審議・正式決定
常任委員会閉会后、常任委員に総会メンバーへの書面総会の変更連絡・書面表決書・
総会資料を渡し、配布依頼する
- ◇4月12日各常任委員、自身管轄新旧常任委員・組長に書面総会資料配布する
- ◇4月17日三役に書面表決書の提出期限
- ◇4月18日三役による書面総会実施(提出された表決書集計・議案修正、意見等記載されてきた内容
の回答検討等)
- ◇4月20日書面表決表に書かれた議案修正・意見等の提出者への個別文書回答書送付、一部提出者
への個別訪問説明
- ◇4月22日総会メンバーへの「書面総会による書面議決結果報告」ならびに一般会員への「書面総会
による書面議決結果報告」と承認された「総会資料」の回覧
- ◇5月9日新役員による第1回常任委員会は書面常任委員会とした。同日開催した新役員による三役
会協議事項を5月書面常任委員会に報告配布。

終了

以上